

活動報告

団体名	鶴の恩返し
活動名	被災地の自立復興のためのボランティア派遣活動
活動期間	2018年7月～2019年3月
活動の成果	<p>私どもは、前年の被災者であり、「恩返し」「恩送り」というコンセプトで活動をおこなってきた。このことで、心を開きやすいということは多くの方々から言っていた。また、「じゃあ今度は私たちが恩返し活動をします」と言っていたく場面も多かった。</p> <p>私どもは、純粋に恩返し活動をさせていただきただけかたのではあるが、私どもの姿を見て、「甘えてばかりではダメだ」とかというようなことを被災者の方々を感じ、考えてくださったことは大きな成果として挙げさせていただきたい。</p> <p>また、被災地の地元住民による復興活動が十全におこなえる体制づくりを支援することが、外部支援者の役割であるということを言い続けながら活動を進めてきたが、その意味を理解してくれる支援者や被災地の方々が増えてきたことも成果として挙げさせていただきたい。</p> <p>地元の活動団体である「スマイリング」さんは、支援物資の配布で多くの方々に家電や家具を提供することができ、現在ではコミュニティーの場づくりに活動を移行されており、各種イベントを開催しており、今後の活動に期待している。</p> <p>この団体の立ち上げから関与させていただくことができたことも成果として挙げておきたい。</p> <p>日本全体で災害時には近隣地域の役割が大きいということを少しでも認識を深めていただきたいと思ってきた。今回は、近隣地域の図書館で講義をする機会を与えていただき、そのことを述べるなかで、コミュニティーの場づくりの炊き出しスタッフとして参加してくれるようになってきた。話を聞くと、何かしたいという気持ちはあるが、具体的にどうしていいのかわからないという思いのまま時間だけが過ぎていき、だんだん被災地の知人にも顔向けができなくなってきたとのことだった。近隣地域の住民の方と協同できたことも、些細なことかもしれないが、成果として挙げさせていただきたい。</p> <p>最後に、コミュニティーの場づくりを計画するなかで、私どもの志に賛同する者が増え、炊き出し班ができたことも成果として挙げておきたい。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>尊いご寄付を使わせていただいていることに対し、心より御礼申し上げますとともに、今後も、ご寄付された方々が、寄付されたことを誇りに思えるような活動になるように心がけて取り組みをすすめてまいりたいと存じます。今後ともよろしくお願い致します。</p>

(活動のようす)

